

第1回企画等専門調査会(平成23年11月21日)資料

「<平成23年度>食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について(案)」抜粋

評価課題／危害要因	危害要因に関する概要等	国内外における評価状況、管理状況等
ギ酸(エビの尾先部分にある)	<ul style="list-style-type: none"> ・国立医薬品食品衛生研究所:国際化学物質安全性カード 経口摂取では、急性症状として咽頭熱、灼熱間、腹痛、胃痙攣、嘔吐、下痢を引き起こす。 ・国内外とも、ギ酸がエビに含まれているとされる情報は見当たらない。 ・メキシコの研究所の論文で、発行させたエビの廃棄物の有機酸の分析を実施しているがギ酸は検出されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> <国内> ・食品安全委員会による評価状況:なし。 ・環境省:官民連携既存化学物質安全性情報収集・発信プログラム(Japan チャレンジプログラム)において優先情報収集対象物質となっている。